

tc electronic



FLASHBACKK

DELAY AND LOOPER

ユーザーマニュアル

安全のための注意事項

- 1 注意事項をお読みください。
- 2 注意事項の書類は手の届くところに保管してください。
- 3 全ての警告をお守りください。
- 4 全ての指示に従ってください。
- 5 本装置を水気の近くで使用しないでください。
- 6 本装置の手入れは、乾いた布のみを使用してください。
- 7 換気に必要となる本装置の開口部は塞がないでください。
- 8 ラジエーター、ヒート・レジスター、ストーブ、アンプリファイア等、またそれに限定されないあらゆる熱を発する機器の近くに設置しないでください。
- 9 本装置に設置するアクセサリや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
- 10 本装置の点検・修理は、必ず資格を持った技術者にご依頼ください。パワーサプライのケーブルやプラグが破損した、液体を本体にこぼした、本体シャーシ内に異物が入ってしまった、雨や過度の湿度にさらした、本装置の動作異常が生じた、本装置を落としたなど、原因に関わらず本装置に破損が生じた場合はサービスが必要です。

警告！

- 感電や発火のリスクを軽減するため、本体に水が垂れたりはねる環境での保管・使用は避け、花瓶等液体の入った物を本体の上に置かないでください。
- 閉じられた空間に設置しないでください。

保守について

- 本体の保守点検修理は必ず有資格者の手で行なってください。

注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります。

バッテリーを交換する際には、必ず本マニュアルに記載されているバッテリーの扱いに関する指示に従ってください。

EMC/EMI

本装置は FCC 基準 Part 15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。

これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じうる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本装置は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源を落としてから再投入してください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で障害の解消を試みることを推奨します。

- 受信アンテナの方向、設置場所を変更する
- 本装置と受信機の距離を遠ざける
- 本装置を受信機とは別の系統の電源回路に接続する
- 必要に応じて、販売代理店、または経験のある無線／TVの専門技術者に問い合わせてください。

For the customers in Canada:

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

AUSTIN ECHOES



オースティン・エコー



AMBIENT SLAP

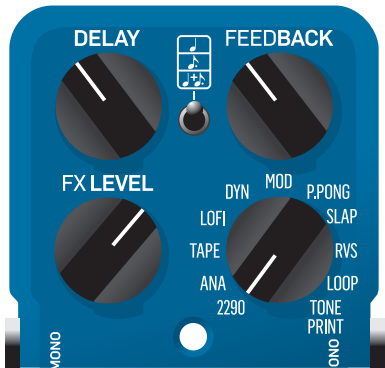


アンビエント・スラップ



EDGY ECHO

エッジ・エコー



DUAL DELAY

デュアル・ディレイ



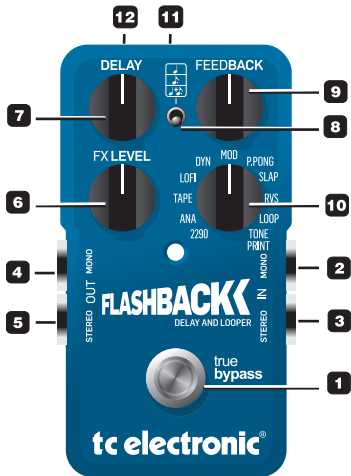
(JP) イントロダクション

この度は、Flashback ディレイ & ルーパーをお買い上げいただき、ありがとうございます。このペダルは、貴方を TC ならではのインスピレーション・イノベーション・トーンの世界へと導きます。

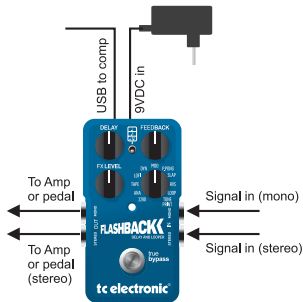
Flashback ディレイは、瞬時に充実したサウンドを得られる直感的なコントロールで TC エレクトロニックの伝説的なディレイ・サウンドを実現します。TC がディレイの頂点であると広く認識されているのは偶然ではありませんが、Flashback はそれだけに留まりません。TC は世界中のギタリストと同様に、トーンに対して極めて真摯なこだわりを持っており、Flashback は TonePrint (トーンプリント) という革新的なコンセプトを採用しています。

TonePrint は、カスタムメイドのサウンドへのアクセスを可能とします。多くのギターヒーローが、彼等を有名にしたトーンを提供してくれました。TonePrint では、「彼等のようなサウンド」ではなく、「彼等のサウンドそのもの」を手に入れることができます。

TonePrint のセットアップ方法はシンプルそのもの。付属の USB ケーブルを使用して、TonePrint を製品にアップロードするだけで、選択したアーティストのカスタム・サウンドそのものを得ることができます。「エミュレーション」といった模写とは無縁の、真のコラボレーションの始まりです。



- 1 - エフェクト・オン/オフ (トゥルー・バイパス可)
- 2 - 標準 1/4" モノラル・イン・ジャック
- 3 - 標準 1/4" モノラル・イン・ジャック (ステレオ・イン用)
- 4 - 標準 1/4" モノラル・アウト・ジャック
- 5 - 標準 1/4" モノラル・アウト・ジャック (ステレオ・イン用)
- 6 - エフェクト・レベル・コントロール
- 7 - ディレイタイム・コントロール
- 8 - サブディビジョン (符割) セレクター
- 9 - フィードバック・コントロール
- 10 - ディレイ・タイプ・セレクター
- 11 - パワー・イン (9VDC)
- 12 - USB 端子 (TonePrint セッティングのアップロード
ならびにソフトウェア・アップデート用)



配線

インプット・ジャック - モノラルの場合は MONO、ステレオの場合は MONO と STEREO 両方の端子を使用します。バッテリー駆動をしている場合、電池の消耗を防ぐために、未使用時にはインプット・ジャックに挿したケーブルを抜くことをお勧めします。

アウトプット・ジャック - 次のペダル、またはアンプかミキサーに接続します。モノラルの場合は MONO、ステレオの場合は MONO と STEREO 両方の端子を使用します。バッテリー・カバーの中にあるディップスイッチで、トゥルー・バイパスとバッファー・バイパスを切り替えられます。

電源入力 - 次の仕様の 9VDC パワー・サプライを使用します：



USB - TonePrint セッティングを流し込む際のコンピューターとの接続には、付属の USB ケーブルを使用します。端子は Mini-B タイプです。

コントロール

FX LEVEL - エフェクト・レベル

ディレイ成分のレベルを調節します。ダイレクト信号のレベルは常に元のレベル（ユニティ・ゲイン）を保ち、ディレイ成分のレベルのみが変わります。

DELAY - ディレイタイム

ディレイの間隔を調節します。Slapback（スラップバック）を除く全てディレイ・タイプにおけるディレイタイムの可変幅は 20 ms ~ 7000 ms（7 秒）です。スラップバックのレンジは 20 ms ~ 300 ms です。

FEEDBACK - フィードバック

ディレイ成分の出力を入力に循環させる量を調節することで、ディレイの反復回数をコントロールします。

ディレイ・タイプ・セレクター

ディレイのタイプを選びます。9 つのディレイ・タイプ、ルーパー、TonePrint のいずれかを選択できます。

オーディオ・タップ機能 & 符割

前述の通りディレイタイムの設定は通常 DELAY ノブで行いますが、ディレイタイムを楽曲のテンポに合わせたい場合は、まずは全体のテンポを指定して、符割セレクターで拍を決める操作方法も用意されています。

テンポの設定方法：

- ON/OFF スイッチを踏み込んだまま（長押し）の状態にして、楽器で短めの 4 分音符を刻みます。

次の点にご留意ください：

- オーディオ・タップ中、出力は常にミュートされます。
- バッファ・バイパス・モードでは、ペダルをバイパスしてもディレイ成分の余韻は鳴り続けます（スピルオーバーします）。
- 楽器で、テンポに合わせて短めの 4 分音符を刻みます。
- スイッチから足を離します。

以上で、グローバル・テンポが設定され、設定した符割でディレイ成分が鳴ります。選択肢は、四分音符、付点八分音符、1/4 + 付点八分音符です。

2290 - デジタル・ディレイ

インプット＝アウトプット、ディレイの反復成分にプロセッシングは行われません。ピュアでクリアな、純粋なデジタル・ディレイです。

ANA - アナログ

ハイがやさしくロールオフする比較的エッジのやわらかいディレイで、長いディレイタイムと高めのディレイ・レベルの組み合わせでもアンサンブル全体によく馴染みます。

TAPE - テープ

旧式のテープ・ディレイで得られる効果を再現します。デジタル世代のディレイ機が一般化する以前、ディレイ効果は、テープ・ループと複数の録音／再生ヘッドで生成していました。アナログのテープ・レコーダーは、回転ムラによる周波数の変動、そして高域や時として低域の欠落など、録音した素材の音質を劣化させます。この劣化は文面上はマイナスに見えるかもしれませんが、原音とディレイ成分の一体感を増す極めて音楽的な効果につながり、現代においても積極的に使用されています。

LOFI - ローファイ

ディレイ成分を意図的に潰し、主張の強い効果を得られます。

DYN - ダイナミック

名機 TC2290 の伝説的ともいえるダイナミック・ディレイ機能のレプリカです。入力信号の強弱がディレイの出力レベルに反映されます。演奏中はディレイの出力は抑えられ、入力が途切れると同時にディレイの出力が上がる効果が得られます。ディレイのレベルを高めに設定している時でも、速めのリフを弾いた際のディレイの干渉を抑えることを可能とします。

MOD - モジュレーション

ディレイ成分のみにビブラートを施す、極めて効果的なエフェクトです。コーラス／ビブラートを通った信号全体に対してディレイを加える場合と比べると原音の音程感や定位を損なうことがなく、ディレイ成分のみにビブラートを与えることができます。

P.PONG - ピンポン

原音の位置はそのままに、ディレイ音のみを左右にパンニングします。ステレオ感を強調することができます。

SLAP - スラップ

スラップバック効果は、反復回数の少ない、非常に短いディレイのことを指します。「ダブリング」の様な効果を得られ、音の存在感を増す目的で使用できます。短かいスラップバック・ディレイはファンクギターのカッティングなどに使用できますし、多少長めの設定ではロカビリーの様なサウンドが得られます。

RVS - リバース

ミステリアスでエギゾチックなサウンドを演出します。インプットは、サンプルされた上で逆再生されます。

LOOP - ループ

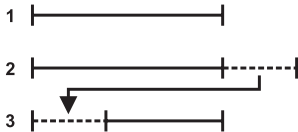
Flashback のループ機能は、グループやラインの録音・再生を行って、その上に演奏を重ねることを可能とします。録音したループは、オーバーダブを行うことで無限に音を重ねていくことができます。ループ長の上限は、オーバーダブの回数に関わらず、40 秒（モノラル）または 20 秒（ステレオ）です。

ループの操作方法

- 1 LOOP を選びます。
- 2 ペダルがバイパス・モード (LED オフ) になっていることを確認します。楽曲のグループを把握して、録音に備えます。スイッチを踏むと録音が始まります。LED が赤く点滅します。
- 3 再度スイッチを踏むと録音は終了し、瞬時に再生に切り替わります。再生時には LED の色がグリーンに変わります。
- 4 録音にオーバーダブを重ねるには、再度スイッチを踏みます。グリーン LED が点滅します。
- 5 全てのレコーディング内容を消去するには、スイッチをダブルクリックします。

留意点

- 初回の録音時にループの長さが決まります (1)。オーバーダブが初回のループ長を超える (2) と、自動的に3週目の録音が始まります。この動作は、ループを扱うにあたってナチュラルな動作ロジックと音楽的な操作感を両立させています。



- ループ・モードでは、DELAY と FEEDBACK ノブは無効です。

TonePrint - トーンプリント

ペダルは多くの内部パラメーターで構成され、本体のノブやスイッチはそれらの設定を様々な組み合わせで同時に変更しています。通常、それぞれのノブがコントロールする内容は TC エレクトロニックが作り上げた標準的な組み合わせとなりますが、もし世界中の最先端のギタリストにこの内部チューニングを一任したらどうなるでしょう。

TonePrint は、この夢のような機能を実現します。各トップ・ギタリストが作成した TonePrint は、ノブやスイッチ類がサウンドに与える変化を再定義して、ペダルに隠されたポテンシャルを掘り起こします。TC はこれらの TonePrint を一般公開しており、ユーザーは簡単に設定を製品本体にアップロードできます。

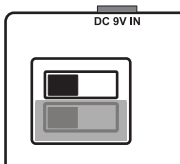
- 付属の USB ケーブルでペダルとコンピューターを接続します。
- www.tcelectronic.com/pedals からご使用のペダルの機種を選び、好きなギタリストの TonePrint セットアップをダウンロードします。
- アプリケーションを開き、UPDATE（アップデート）を選択します。

以上の作業で、次回ペダルの TonePrint を選択すると、アーティストが作成した設定通りにノブが反応します。

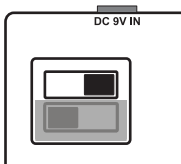
バイパス・モードとキルドライ

バックプレートのネジを外すと、左上の角に小さいディップスイッチが2つ見えます。上のディップスイッチ（DC 9V コネクターに近い方）は、トゥルー・バイパス（デフォルト設定）とバッファー・バイパスの切替スイッチです。

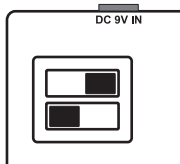
トゥルー・バイパス



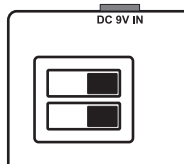
バッファー・バイパス



キルドライ・オフ



キルドライ・オン



トゥルー・バイパス - ハードウェア的にバイパスを行い、ペダルをバイパスした際に信号に一切影響を与えません。少数のペダルを使用していて、ペダルの前後の配線も短距離の場合に適しています。

バッファー・バイパス - ギターから一つ目のペダルまでに長いケーブルを使用する、または多くのペダルを使用してエフェクトボードからアンプまでに長いケーブルを使用する場合は、通常、最初と最後のペダルのバッファーを有効にすることで最善のパフォーマンスが得られます。トゥルー・バイパスとバッファー・バイパスの違いを聞き分けられるかどうかというのは、数えきれない要素が絡みます。アクティブとパッシブ・ピックアップ、シングルコイルとハムバッカー、ケーブルのクオリティー、アンプ・インピーダンス等、セットアップ全体の多くの要素が様々な形で相互に影響を与え合うため、一律な答えは存在せず、状況によって聞き分けられる場合ももそうでない場合も存在します。一番頼りになるのは自分の耳となりますので、ご使用のセットアップに適した設定を探し当ててください。

キルドライ・オン/オフ - バッファー・バイパスを選択している場合（上のボタンを右に設定している場合）、下のディップスイッチはキルドライのオン/オフを切り替えます。キルドライはペダルのアウトプットから原音を除きます。この設定は、通常ペダルをパラレル・エフェクト・ループで使用する際に選択します。トゥルー・バイパス時にキルドライを選択することはできません。

電池の交換 - ペダル裏側のネジを外して、バックプレートを外します。古い電池を外してから、新しい電池を正しい極性で装着します。バックプレートを戻します。電池の消耗を防ぐため、未使用時にはインプット・ジャックからケーブルを外してください。



電池を加熱や分解したり、火や水に投入することは絶対にしないでください。充電用以外の電池は充電しないでください。長期間ペダルを使用しない場合は電池を外してください。電池を廃棄する際は、法規や条例に従ってください。

(JP) 仕様

サウンド	9種類のTCエレクトロニック・ディレイ・エフェクト、最大ディレイタイム7000ms 最大40秒のルーパー（ステレオ時20秒） TonePrint対応 - 一流アーティストの設定を直接移植可能
寸法 & 重量	72 mm x 122 mm x 50 mm、300g（バッテリーを除く）
バッテリー	デュアル・サプライ・レール・テクノロジーにより9Vバッテリー1本でラインレベルのエフェクト・ループに十分なヘッドルームを確保。バッテリー障害対策回路により、バッテリー切れが生じると自動的にトゥルー・バイパスに切り替わります
デザイン	過酷なライブ環境に耐えうる頑強なカスタム「ハンマーヘッド」設計のダイキャスト・アルミニウム・ケース 簡単アクセスのバッテリーボックス
入出力ならびに コネクター	ステレオ入力（モノ/ステレオ自動切替） 超ワイドなディレイ・サウンドを得られるステレオ出力 TonePrintセッティングのアップロードならびにソフトウェア・アップデート用のMini USBコネクター
ノブ等	ディレイ、フィードバック、エフェクト・レベル、ディレイ・モード・ノブ：高品質メタルシャフト・ポテンションメーターを採用 トーンの色づけを行わないトゥルーバイパス対応ヘビーデューティ・タクタイル・フットスイッチ
付属品	TonePrintアップロード用のUSBケーブル、TCエレクトロニック・ギター・パンフレット、 TCエレクトロニック・ステッカー

仕様は、予告なく変更となることがあります。

tc electronic[®]

*TC Electronic, Sindalsvej 34, DK-8240 Risskov
info@tcelectronic.com*